

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	666 観光施設維持管理事業	会計	01	一般会計
		款	07	商工費
		項	01	商工費
		目	03	観光費
基本 施策	44 資源とともなしの心を活かし、観光を振興する	細目	102	観光施設維持管理費
		細々目	01	観光施設維持管理事業
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード	191400		担当者
	名称	商工労働観光課		氏名
				川部 千佳
				連絡先
				43 - 2309
				(内線)

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	市内、市外及び県外の観光客	※対象件数
成果(どうする)	観光施設の適正な維持管理を行うことで、観光客に安全で快適なサービスを提供することができ、観光施設及び伊賀市の観光全体のイメージアップが図られ、観光入込客数が増加する。	
根拠法令・要綱等		
開始年度/平成	年度	関連事業
終了年度/平成	年度	
H21	○観光施設の維持管理を実施	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・上野公園内観光食堂耐震診断 ・上野市駅地下道連絡通路ウインド改修工事 ・余野公園・奥余野森林公園管理委託 ・霊山周辺の施設の維持管理業務委託 ・白藤滝周辺の施設の維持管理業務委託 ・ふるさと公園維持管理業務委託 ・青山高原山頂小屋維持管理委託 ・道路公園管理業務委託 ・その他観光施設維持管理委託 	
社会情勢の変化等	全ての観光施設で、経年劣化等により年々修繕を要する箇所が増えてきている。また、観光案内サインについても、劣化が著しいものがあるので、今後も大幅な修繕工事が必要であると見込まれる。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			観光施設維持管理業務件数	箇所	目標 24 実績 24	目標 24 実績 24
施設の修繕・改修実施件数	件	目標 12 実績 12	目標 11 実績 11	11	11	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				年間(暦年)の観光入込客数	人	目標 3274050 実績 3393512	目標 3393512 実績 3292545

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	18,782	16,972	15,915	16,806				
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金	4,800	4,845	3,338	3,338				
地方債								
その他	7	6	3	3				
一般財源	13,975	12,121	12,574	13,465				
事業投入人件費(B)	0.2人	1,440	0.2人	1,440	0.2人	1,440	0.2人	
フルコスト(A)+(B)	20,222	18,412	17,355	18,246				

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	観光施設は観光まちづくりを推進する当市にとって必要不可欠な施設であり適正な維持管理を行うことにより、観光客の受け入れ環境を整備する必要がある。	○
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	観光客の安全確保のために最低限必要な維持管理であり、放置することにより事故等があれば市の安全管理責任が問われる。また、適正な維持管理を行わないことによる観光地としてのイメージダウンも懸念	○
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
効率的性	予算の繰越の有無	有
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	繰越明許費
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求められることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	観光客の安全確保等には今後も最低限の修繕等は必要であるが、施設の定期点検等を行い早期発見修繕等に努め極力経費を削減する。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	長年の懸案事項であった修繕箇所について工事を実施することにより施設の維持管理に努めることができた。また、その他施設においても適正な維持管理を行い観光客の安全性・利便性・快適性を確保することができた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	松本 浩典
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	観光客の安全確保等のため限られた予算の中で今後も最低限の修繕等を実施していくとともに、施設の長寿命化を図るため定期点検等を行い早期発見修繕等に努め極力経費を削減する。
現時点における課題、その他	全ての観光施設で、経年劣化等により年々修繕を要する箇所が増えてきている。また、大規模改修が必要な時期が来ている。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	今年度において改修が必要な施設についての調査を行い、改修計画を立てる。